

コロナ禍の 中国ビジネス環境

中国プロジェクト
執行役員
ゆしん けつ
愈 箴 潔



2020年旧正月からのコロナ発生以来半年が過ぎた。中国国内ではやっと落ち着きがみえてきたが世界のビジネス環境はますます厳しくなっている。ご存じのように、中国は各分野の製品を輸出することで、国力が強くなり人民も豊かな生活ができている中で、お客様である欧米、日本、南米、中東地域の生産停止による発注遅れ、発注キャンセルが続出し、中国の輸出企業に大きな打撃を与えている。減税や納税猶予を受けているが中小企業がいままでの雇用と生産体制を維持するには精一杯な状況だ。

京二上海の中国国内お客様の受注は2分の1まで落ち込んでおり、生産の回復はまだまだ見えない。車部品の取り扱いが多く中国国内の日系車の販売数に大きな影響を受ける。海外向け製品は従来工具類製品の受注金額が3分の1減っている。治具、部品類については新規受注、サンプル受注が増えている。納期も順調であり、今まで工具のみ受注させているお客様より治具や小ロット金属部品の受注がスタートし、価格メリットがあれば全ロット切換えしても良いというありがたい話もあった。中国での仕入先をご紹介します。

(1) 日系治具メーカーの大連鈴木研磨は大連地域の有力企業90社の強い分野をまとめて、厳しい品質管理の元小ロットから量産品を日本のお客様へ提供。京二がお客様情報、ご要望をメーカーへ届け、納期管理と輸出業務を確実にこなし、コストパフォーマンスの良い製品をお客様工場へ納品する。

(2) 上海から車1時間半の場所に蘇州モリという工場と取引スタート。主に油圧部品に関わるステンレス、鋼材の高精度削り出し部品の供給を得意としている。カードリッジバルブ、鋳物ブロック、スプール系製品をメインで量産供給し、中国3割、日本7割の比率で供給。より多くの油圧、空圧お客様へコストパフォーマンスの大きい部品供給を目指している。

日本でもコロナが猛威を振るっている中で会社も工場も段階的に生産回復している。自動車メーカーの注文が減れば部品加工もフル生産できず、下流にある商社にかなり大きな影響が出ている。従来のお客様に未開拓分野の新規製品を推奨し、マッチングできるニーズを見つけ出し、お客様のコストダウンに貢献できるよう努力していく。

